

農業もISO?

米沢郷牧場が起こした農しポリューション

今日本では農家の多くが高齢化と後継者不足で、耕作放棄地が広がっています。

一方、山形県の米沢郷牧場グループでは、有機農業に新たに取り組む若者があふれ、いきいきと環境管理の国際規格ISOに取り組む高齢者がいます。

有機栽培の田んぼには豊かな生態系が広がり、子どもたちの自然観察会も行われています。

自然環境と共生しつつ安定した経営を続ける米沢郷牧場の農のシステムは、昨年の震災や放射能の不安を超え、農の未来を拓くヒントになるはずです。

リーダー伊藤さんの人としての魅力も米沢郷グループ拡大の要因であるときっと感じていただけるでしょう。

講師：伊藤幸蔵さん（米沢郷牧場グループ代表）

山形県東置賜郡高島町大字一本柳 2714

日時：2012年2月5日（日）午後2時から午後4時（開場1時半）

場所：岡山国際交流センター B1F レセプションホール

〒700-0026 岡山市北区奉還町 2-2-1（岡山駅西口より徒歩5分）

<http://www.opief.or.jp/oicenter/>

お問合せ・お申込み：岡山大豆倶楽部

mail = daizu_club@yahoo.co.jp（清水）

tel = 070-5678-8572（タニアイ）

※お申込みが100名に達し次第締め切ります。

主催：総社市有機農業推進協議会

<http://soja-yuki.com/>

協力：岡山大豆倶楽部

<http://daizukurabu.seesaa.net/>

http://twitter.com/daizuxclub_s/

当日も受け付け。
できれば事前に申込みを！

参加無料

67年 6月11日生まれ
85年 高校卒業、石川県 竹本敏晴氏・北海道 士別農園にて研修
87年 山口県 船形総合農場にて派遣実習
89年 農林水産省 農業者大学校卒業
就農 無農薬栽培開始、
オーストラリア派遣実習
95年 ファーマーズ・クラブ赤とんぼ設立
<http://akatonbo.cside5.jp/>
00年 ISO14001 認証取得
01年 有機JAS 認証 (生産行程・小分け) 取得
現在 米沢郷牧場グループ 代表
社団法人 BM技術協会 理事長

経営実態

- ・米沢郷牧場
ブロイラー生産100万羽、肉牛、青果、農産物生産・加工販売
- ・ファーマーズクラブ赤とんぼ
グリーン共同購入、機械施設の共同利用、共同販売、精米、
有機栽培等農法の研究と開発 (会員農家数82戸・ISO14001登録サイト面積約300ha)
- ・エコファーム匠
水稲12ha、りんご40a、野菜他120a

発言の要旨

01年からJAS有機の認証は取得しているが、認証のマークは可能な限り使用せず販売している。先輩方と行ってきた有機農業運動は、=JAS有機認証ではないと感じ、自ら目的を定め、目標を立て改善していく環境マニュアルをつくり、00年にISO14001の認証を先行取得した。

有機農業の推進・普及には、農業者だけでなく、行政をはじめ、消費者・流通の理解・協力が必要だと考えている。また現在の有機農業技術については、認証取得のための技術になっているような気がする、ともすれば、JAS有機認証が始まった00年から基本技術は進んでいないのではないかと感じている。

今後、自国の自給率の問題だけではなく、世界的な食糧不足に加え、肥料・資材等の不足、高騰の点からも有機農業や地域循環型農業の推進と「地域と地域」「人と人」を繋ぐ産直の取り組みが一層重要になると考えています。

